



RESOLUTION No. 24) AUSTERITY AND PRIVATISATION

第24号決議) 緊縮財政と民営化

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

以下に留意する。

経済危機に対する欧州議会と欧州連合の対応は、欧州全土に深刻な損害をもたらし、労働組合と世界連盟に不安をもたらすアプローチを導入することである。合意または提案されたイニシアチブの多くは、経済危機のコストを、その原因に何ら関与していない労働者に支払わせる働きがある。

世界大会は、欧州全土において政府が公共部門労働者、年金生活者、失業者、公共サービスに、金融市場が引き起こした危機の罪を負わせた事実を嘆く。

世界大会は、公共サービスを「意欲的な事業者」に移行するという一部の欧州の政府による政策を認識し、非難する。また、公共部門の年金が攻撃された理由のひとつが、大規模な民営化を実施しやすくするためであったことを認識し、非難する。

世界大会は、国際公務労連 (PSI) ・欧州公務労連 (EPSU) による「緊縮財政にノー」キャンペーンを歓迎し、欧州経済政策の変更を求めるEPSUの「緊縮財政にノー。仕事、公共サービス、社会的権利を求めて」を支持する。

さらに以下に留意する。

世界大会は、イギリスおよび欧州全土における連帯の表明から力を得、各国の反緊縮財政キャンペーンの後押しにおいて欧州全土で今後の行動をより良く調整することを目的としたイニシアチブを歓迎する。

そのうえで、PSI世界執行委員会に以下を求める。：

- 活動の調整を支援し、メンバーに影響を与える緊縮財政の問題についてキャンペーンを進め、加盟組合との協議のもとで緊縮財政に反対する世界行動デーの調整を図ること。
- 緊縮財政の問題と、欧州および世界で起きている現状について共にキャンペーンを行う必要性について加盟組合と意見を交わし、理解を深めること。
- 緊縮財政措置と経済危機で最も大きな打撃を受けた国の主要組合と二国間の関係を構築・展開するよう加盟組合を促すこと。
- 労働組合その他の組織と可能な限り広い同盟を築いてIMFや世銀といった機関の政策に立ち向かうキャンペーンを行い、公的所有を主張し、公共サービスを守る組合のキャンペーンを支援・援助すること。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと